



小手中魂

合言葉「**チーム小手指**」とは
情熱・授業力・社会性を持ち、生徒を
第一に考える教師集団のこと



所沢市立小手指中学校 校長 結城 尊弘 令和8年4月8日発行
【生徒数：1学年232名 2学年199名 3学年188名 8組16名 合計635名】

令和8年度入学式式辞 渋沢栄一の夢七訓「夢を持つことが、すべての出発点である」

入学式にあたり、私から本校の教育目標「**主体的にたくましく生きる生徒**」に通じるものとして、埼玉県出身の偉人であり、日本経済の父と称される、渋沢栄一の話をしていきます。渋沢栄一は明治時代に日本経済の基盤を築き、道徳と経済の両立を説きました。彼の思想や福祉活動が現在改めて注目されています。当時、自国中心主義が蔓延する時代に、彼は常に世界の中の日本を意識し、民間外交、世界平和の実現に尽力しました。彼は『世に至誠（誠実）ほど、偉力（偉大な力）あるものはない』という言葉を残しています。誠実であることが人としての大きな力になるという教えです。



4月7日小手中桜

ここで、**渋沢栄一の夢七訓**を贈ります。『一、夢なき者は理想なし 二、理想なき者は信念なし 三、信念なき者は計画なし 四、計画なき者は実行なし 五、実行なき者は成果なし 六、成果なき者は幸福なし 七、ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず』夢を持つことがすべての出発点であるということです。

私の好きな言葉に『私の人生の最大の誇りは、1度も失敗しなかったことではなく、失敗するたびに、立ち上がったことだ。どんなに八方ふさがりの状況でも、必ず突破口はある』という言葉があります。失敗を恐れず、挑戦し続けること。それが皆さんの未来を切り拓いていきます。

さて、本校には、**チーム小手指**という合言葉があります。何があっても負けない、くじけない、へこたれない—そのような**小手中魂**を大切にしています。新入生の皆さんも、二年生、三年生と力を合わせ、本校を今よりもっとすばらしい学校へと発展させてほしいと大いに期待しています。

在校生のみなさん、進級おめでとうございます。昨日の準備登校では、今日の日のための会場準備、校舎内外を一生懸命きれいにしてくれました。学校を代表して、お礼を申し上げます。新入生のよき手本として、**先輩は後輩を大切に、後輩は先輩を尊敬する学校**を創っていきましょう。学習、行事、部活動などに主体的に取り組み、新入生に模範を示し、創立80周年の節目に、ふさわしい学校を築いていくことを期待します。

最後に、全校生徒のみなさんへ。世界には今もなお、戦火が絶えず軍事力におびえ、困難な状況で生きている人々がいます。だからこそ、私たちは「命の大切さ」と「人と人との絆」を大切にしなければなりません。本校は**誰一人取り残されることなく、多様性を認め合い、共に学び、共に助け合い、共に生きる学校**を目指しています。人は仲間に支えられることであらゆる困難を乗り越えることができます。一人ではたどり着けない場所へ、仲間とならたどり着ける。この喜びを是非味わってください。それが、中学時代であり、小手中中です。

結びに、新入生の皆さん。今日という日は皆さんの原点です。初心忘るべからず、今の気持ちを忘れず、仲間と共に歩み続け、『この学校で学んでよかった』と思える3年間を築いてください。

来賓の皆様、保護者の皆様へ、本校の教育への一層のご理解と温かいご支援を心からお願い申し上げます。

【連絡】本市では盗撮防止ガイドラインに従い、通信機能付きスマホ等の教室の持ち込みを原則禁止しています。ただし、生徒の活動場面の記録として、学校所有のデジタルカメラを使用して撮影しております。SDカードのデータは校務用PC内に保管し、情報の持ち出しは致しませんので、ご承知おきください。なお、HPや学校だよりで、表彰者名、写真等の掲載を希望されない方は、教頭まで連絡をお願い致します。